

# ふれまち神出通信

## 神出ふれあいのまちづくり協議会

委員長 前淵 芳信

今年も神出自治協議会の会長を務めさせていただきますことになりました前淵です。神出町の皆様には平素から神出自治協議会の諸活動に対しご支援と、ご協力を賜り誠に有難うございます。

書面にてお礼申し上げます。

皆さんご存知のように神出町には19の自治会がございます。今回は各地区の会長をご紹介させていただきます。

- ・東自治会・溝端康浩
- ・老の口自治会・長田義春
- ・南上自治会・前淵芳信
- ・南下自治会・藤田巧
- ・田井自治会・西馬昌典
- ・古神自治会・辻正則
- ・勝成自治会・藤田博
- ・五百蔵自治会・森本恵市
- ・小東野自治会・藤本良巳
- ・山西自治会・胸永重昭
- ・広谷自治会・井上久志
- ・北自治会・坂口勤
- ・吉生自治会・岩本逸雄
- ・池下自治会・田中秀實
- ・新々田自治会・浅原康行
- ・池田自治会・高見吉信
- ・神納自治会・大西増弘
- ・上北古自治会・藤原秀勝
- ・下北古自治会・近藤清治

尚、執行部役員メンバーは左記のように決定いたしました。

- 会長 前淵 芳信 (南上)
- 副会長 藤原 秀勝 (上北古)
- 副会長 岩本 逸雄 (吉生)

ふれまち神出通信発行団体  
 神出ふれあいのまちづくり協議会  
 西区神出町田井三四一  
 地域福祉センター  
 発行責任者 前淵 芳信  
 編集者 西馬 義和

目次項

・ふれまち	1
・かたこ会・消防団	2
・民生児童委員・小学校	3
・中学校・中P・児童館	4

- 会計 西馬 昌典 (田井)
- 幹事 坂口 勤 (北)
- 監査 大西 増弘 (神納)
- 監査 胸永 重昭 (山西)

以上のような新体制がスタートしましたので皆さん今年もよろしくお願いいたします。

### 報告事項

去る2月11日なでしこホール2階にて平成28年度 西区青少年フェスティバルが開催され、神出中学校吹奏楽部が地域内においてのボランティア活動が認められ善行表彰を受けられました。

また、神出小学校6年世良田芽果さん、神出中学校1年石橋琴音さんが社会を明るくする運動作文コンテストに入賞し、それぞれ表彰を受けられました。

今回表彰を受けられました皆様誠におめでとうございます。

### パートナーシップ

にぎわい創出部会  
 部長 梶 哲郎

### 『2016年度の活動を振り返って』

最初に神出町の皆さんにお礼を申し上げます。

平成28年度のにぎわい創出部会の主な行事で、ある七夕祭り、また神出ウオークとコラボした花畑プロジェクトのコスモスの観賞と、皆様のおかげをもちまして多数の参加者により盛大に執り行うことができました。本行事の開催に対してご協力いただいた皆さん本当にありがとうございます。

8月7日に行われた七夕祭りでは神出児童館・こども園雄岡山・神出幼稚園・神出小学校・神出中学校・神出小学校・西区役所・あんしんすこやかセンター・吉生子児童会・サンビラこうべ・神出シニア・神港園・デイサービスなんきんまめ・久野病院・神出病院・雄岡病院等の皆さんに笹飾りを手作りしていただきました。色とりどりに飾られた約50本の笹で大いに盛り上がりました。また、会場の草刈、笹の準備など運営だけで延べ60人の方に協力いただきました。そして、花畑プロジェクトでは6集落、18名と1団体の皆様の協力を得て合計面積365.7aの田に種をまいていただきました。おかげさまで神出ウオークにおいて見事に咲き誇ったコスモスをたくさんの方に観賞して頂くことができました。当日、御参加いただいた人だけでなく数えきれない人たちの協力で行事が成り立っているのだと、考え深いものがあります。そしてなにより神出町の皆さんに惜しまず協力いただいたこと。本当にありがとうございます。最後になりましたがにぎわい創出

七夕まつり(スイカ割)



七夕まつり(笹飾り)

部会が発足した時から活動を行っている神出楽団、今では各種催し物の場で活躍しております。見かけることがありましたら声をかけての応援よろしくお願ひします。(神出楽団への参加はいつでもOKですので勇気を出して応募してください)

振り返ってみるとどうだったかと思うところもありますが、全力で活力あふれる元気な街づくりをめざした1年でした。神出の街を活力ある元気な街にするため、今後ともみなさまのご協力をよろしくお願ひします。

神出ウォークとコラボしたコスモスの観賞



三社参り・かたこの花園

神出かたこ会連絡協議会  
会長 中嶋 璋文

1月6日(金)穏やかな天候に恵まれた下午前9時30分、神出各地から80人がバス3台に分乗して出発、淡河PAで合流。「明けましておめでとうございます」の声飛び交い、笑顔であふれていました。今年の恵方、北北西に当る丹場地へ向かいました。

最初に、丹波春日神社に参拝。奈良春日大社の分霊を祭っている。能楽愛好家だった篠山藩主、青山忠良が寄進した能楽台が有り、元旦には「元朝能翁神事」、四月上旬には「篠山春日能」が舞われます。

昼食を取った後、柏原八幡宮に参拝、京都石清水八幡宮を勧請し、柏原別宮として創建され、現在の社殿は、天正13年(1585)年豊臣秀吉によって造営されました。社殿は「入船山」山頂に建立されており、1911の階段を登るのはきつかった。尚、この二社のたたずまいは、いづれも長い年月を耐えて来た様で霊験あらたかな思いがしました。

丹波春日神社



柏原八幡宮



最後に、播州成田山法輪寺(西脇市)に参拝。前2社とは全く違うと伝っても過言ではない程、大きく立派な建物で煌びやかな朱色が主、前社とのギャップが大きすぎて戸惑いを覚えた。広い境内が有り、初詣に参拝された人達が返納された「御札」が、境内端の物置に治まりきらず、食み出している状況を見て、大勢の参拝客が有り、霊験あらたかさを物語る様と思いました。

今年の参拝は、県内、近隣だったので、午後五時〜六時頃に神出各地に帰れました。

本年度の取組について

西消防団神出支団

副支団長 西馬 昌典

いつもお世話になり、ありがとうございます。

昨年を振りかえると全国的には4月の熊本大震災、8月には東北・北海道への多数の台風の上陸があり、特に岩手県では河川の氾濫により多数の犠牲者が出ています。また、10月鳥取中部地震、最近では12月新潟糸魚川の大震災など災害の多い年でした。

一方われわれの神戸・神出地区では大きな災害も無く、平穏な1年だったと思います。しかし、今後30年のうち7割強の確立で発生が想定される南海・東南海地震等があり、これらの災害に備えるべく、消防の重要性・期待がますます高まっています。

現在消防団では消防力の強化を目的に、装備の充実、処遇の改善が図られています。これらの装備を十分に使いこなし皆様の負担に比べられるよう、これまで以上に訓練に励んでいます。

4月には恒例の神出支団ポンプ操法競技会を行い、日ごろの訓練成果をご披露する予定です。多数の皆様のおいでをお待ちしています。

新年度も神出支団一致団結して神出町の皆さんの生命・財産を守り、安心・安全のため活動をまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしく願います。



訓練風景



「ふれあいもちつき大会の実施」

民生児童委員協議会

会長 正井 樹

1月28日(土)に地域福祉センターで毎年恒例の「ふれあいもちつき大会」を実施しました。多くのこどもさん及び親御さんたちが「もちつき」や「もちの丸め」に参加していただきました。丸めた餅は豚汁とぜんざいに入れ皆様にその場で食べていただきました。前回までは、つきたての餅をしようゆ・きなこ・大根おろしでその場で食べていましたが、安全・安心を確保するため残念ながら今年は直接食べることは取りやめになりました。その代りにこどもさんたちには「もちの丸め」を充分経験してもらいました。そして、豚汁とぜんざいにはたっぷり餅

を入れました。「もちの丸め」が珍しいのかもつとやりたいというこどもさんたちが多くいました。また、西区役所から区長様をはじめとして職員の皆様に参加していただき会場を盛り上げていただきました。この場で御礼を申し上げます。ありがとうございました。

もちつき大会をはじめとして各行事を無事実施することができましたのも、神出自治協議会を始めとする神出町の関係者の皆様のおかげです。ありがとうございました。今後も民生児協一丸となって民生関係活動へ取り組みますので、一層のご協力・ご支援よろしく願います。



もちつき・もちの丸め



「一年間ありがとうございました」

神出小学校長 岡本忠興

昨年の四月からお世話になり、早一年が経ちます。この間、「地域の中で神出の子供たちは育っている」という思いを強く持つようになりました。特に、ふれあいのまちづくり協議会の皆様には、いろいろな教育活動の場でお世話になりました。春の神出町演芸大会では、六年生が学習の成果を発表させていただきました。夏まつりや七夕

まつりでは、子供たちの楽しむ姿が見られました。秋には、五年生が命の感動体験で人の誕生について学び、乳幼児と遊ぶことができました。また、神出町運動会や神出ウォークでは、地域の一員として参加し、神出の歴史と伝統を感じたことでしょう。神出町文化祭には、作品を展示していただきました。さらに冬の寒い中、かんでっ子ふれあいまつりでは、いろいろな食べ物や遊びに子供たちは心から楽しませていただきました。これだけの多彩な活動を行っていただき、参加した子供たちは、地域の方々の温かさに触れ、神出がより一層大好きになったことでしょう。学校としては、これからも地域行事への積極的な参加を呼び掛けていきたいと思えます。ふれまちの皆様方には、今後とも神出っ子の健やかな成長にご支援を賜りますよう、よろしく願います。この一年間、本当にありがとうございました。



演芸大会で神出音頭を踊る6年生



命の感動体験をする5年生

「輝く今！ 未来へ飛翔！！」  
神戸市立神出中学校長 藤本明宏

表題は今年度の生徒会スローガンです。「未来」は「みらい」と読んでください。何かに夢中になること、一生懸命に取り組むこと、人前で自分の考えを述べ、相手の意見を聞いてさらに考えを深めること、力を合せて課題を解決すること、時間をかけて準備し練習してきた成果を披露すること、そんなことに生徒たちは頑張っています。そんなこと単なることではありませんが、ひたむきに頑張る生徒たちは輝いています。そして、明るく未来予想図を描き、未来に向けて夢を育てています。なんて素敵なことでしょう。機会があれば、生徒たちに声かけやアドバイスをお願いいたします。



神出町運動会吹奏楽部演奏。  
「西区善行青少年表彰受賞」



文化祭・全校合唱  
「HEIWAの鐘」



体育会を締めくくる全学年男女の演技「百花繚乱」



学校司書が配置されリニューアルした昼休みの図書館「神出館」と呼んでいます

さて、昨年8月からの大規模改修工事では、いろいろとご不便とご迷惑をおかけいたしました。去る2月18日(土)には、校内にあった工事事務所の撤去を終え、元の学校生活が戻りつつあります。保護者並びに地域の皆様には、いつも絶大なご支援を賜り感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願いいたします。

「平成28年度をふりかえって」  
神出中学校PTA会長 穴田 浩三

平成28年度神出中学校PTA会長をさせて頂いて頂います穴田浩三です、ふれあいのまちづくり協議会では、お手伝いの事ぐらいいしかできませんが、前淵会長を先頭に今年も頑張ってきましたがあと私たちの任期ももうすこしとなりました。又来年度の役員は4月の総会で皆さまの信任を頂き決めてまいります。

さて神出パイパス開通にともない交通渋滞など色々な課題がやまやみになっており、自転車と車による接触事故が発生しその対策に追われてきました、まだまだ危険箇所・看板設置箇所などがあります。また、また来年年度も、夏祭り・町民運動会その他の行事など協力しながら頑張りますのでお願いします。

昨年の夏祭りでは、会場入り口付近の照明が暗いとの要望があり発電機と投光器を用意し会場を明るく改善させて頂きました。昨年11月27日に行われた神出中学校廃品回収は、あいにくの雨で残念ながら回収量が少なく終わりました、紙類は再生する時に水で洗う為雨に濡れても大丈夫ですので気にせずに出してください。

神戸市立神出児童館  
副館長 福井 浩

生きているということ

生きているということは  
誰かに借りをつくること  
生きてゆくということは  
その借りを返してゆくこと  
誰かに借りたら  
誰かに返そう  
誰かにそうして貰ったように  
誰かにそうしてあげよう

永 六輔著『大往生』より

私たちはどれくらい借りを作ってきたでしょう。か。お世話になった人は何人になるでしょう。父母に始まり、自分をとりあげてくださったお医者さん、お祝いにかけてくれた祖父母、近所のおばさん、お米を作った農家の人、魚をとってくれた漁師さん、……。

そもそも、人だけではありません。太陽の光・水・空気といった自然の恵みには、一秒も欠かさずお世話になっています。誰かに「借り」をつくることで生きていられるのです。しかし、その「借り」を「あたりまえ」と感じとっていることがあります。いつも同じことの繰り返しで明日も明後日も、それが続くかのようになっています。「あたりまえ」のことがそうでなくなるときに、初めて借りていたことを実感するのです。改めて、「あたりまえ」のことが本当にあたりまえのことか考え、感謝の目を向けることも意義のあることだと思えます。そして、少しでも「借り」を返すことができよう生きていきたいと心から願っています。この一年、神出児童館に、皆様の温かいご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。